

【分野】 水 稲

水稻の高温耐性品種の選定

【要約】

登熟期が高温でも品質低下しにくい水稻品種の選定を行っています。

【背景】

近年、登熟期の高温により、水稻の白未熟粒等が発生し、品質の低下が問題となっています。そこで、高温に強い品種の導入が求められています。

【結果】

県南部に適した高温耐性水稻品種として「にこまる」を選定しました。「にこまる」は高温下で登熟しても白未熟粒の発生が少なく、「ヒノヒカリ」に比べて多収で外観品質も優れています。また、「ヒノヒカリ」より蛋白質含有率が低く、食味評価も優れています。



図1 高温登熟により発生した白未熟粒(ヒノヒカリ)



図2 ビニルハウスを使い高温下で水稻を登熟させる試験ほ場

担当：農業研究所 作物・経営研究室(086-955-0275)

〔研究課題名：きぬむすめ、にこまるの高品質生産技術の確立と温暖化対応品種の選定 (H24～H28) 気候変動に強い地域適応性水稻品種の選定 (H29～R3)〕